



板橋 英治 議員

問 ごかりんについて 答 町のPRを進めたい



イベントに参加する「ごかりん」

問 ごかりんの活用・実績について。
産業課長 ごかりんの参加回数につきましては、町内外合わせて、平成25年度が24回、平成26年度が現時点までに26回となっております。

産業課長 町では貸し出しに必要事項を定めたイメージキャラクター「ごかりん」着ぐるみ貸出要綱を定めております。対象者は町内に活動の拠点を置き、構成員が町内に在住、在勤、在学する団体、学校、町の外郭団体、企業、その他

町長が適当と認めたものとしており、一般、個人に対する貸し出しは行っておりません。

問 経済効果について。
産業課長 道の駅における昨年4月から今年3月6日までの関連商品の販売実績は、お土産コーナーでの物品類が9万円。ごかりん焼き181万円です。

問 もっと積極的に使った方が良くはないか。
問 もっと積極的に使った方が良くはないか。

入学式、卒業式はもちろん、町外の道の駅に立つて道の駅に売っている特産品のチラシを配るのもPRになるのでは。

産業課長 産業課と町職員10数名で「ごかりん応援隊」を結成しており、その範囲内での活用という事で、効率的な部分も踏まえて検討したい。

問 ごかりんと共に、町の魅力や特産品、各名所などをPRするご当地アイドル、PR大使のような人を公募して町の活性化

化を図ってもよいのでは。
産業課長 親善大使等の部分については、現在考えておりません。

問 今後の活用方法について。
産業課長 町のイメージアップにつながるよう、ごかりん応援隊を中心に、ブームにとらわれず、着実なPR活動を続けていきたい。

問 ごかりんについて。
町長 大いに町外に発信していき、今後、町のPRを進めていきたい。

問 子どもの医療費助成について 答 今後、必要であれば検討したい

問 これまでの経緯について。
町民税務課長 昨年6月議会において、県事業に上乗せして実施する町単独事業分の改正として、県事業の対象となっていない中学生の外来診療に対する助成を追加しました。同時に、一部負担金の肩代わり助成について

は、小学6年生まで行っていたところ、就学前までに縮小しました。

問 近隣の状況は。
町民税務課長 県内の無料化については、年齢や入院、通院等、条件の格差はありますが、無料化を実施しているのは、五霞町を含め18市町村、実施していないのは26市町

村です。

問 中学生までの医療費の無料化について。
町長 平成27年度から人口減少対策の中で検討したい。

問 町の方針とやっている事が違うと思うが。
町長 今後、きめ細やかな支援の中で必要であれば、検討していきたい。

は、小学6年生まで行っていたところ、就学前までに縮小しました。

は、小学6年生まで行っていたところ、就学前までに縮小しました。

は、小学6年生まで行っていたところ、就学前までに縮小しました。